

Family 376号

2017年 5月



- ◆ 特集 FUJITSUファミリ会 支部特集
- ◆ ICT基礎講座 子どものプログラミング教育
- ◆ トップは語る 優れたICTスキルで三井金属グループの発展に貢献
- ◆ 講演録 酒場詩人の流儀～旅と酒場とふれあいと～
- ◆ From 神戸 開港150年を迎えた神戸港の歩みと未来



みんなと共に
がんばろう!
東北

がんばろう!
熊本・九州

- FUJITSUファミリー会 2
支部特集 ほか
- ICT 基礎講座 Close-Up 6
子どものプログラミング教育
- トップは語る 10
株式会社ユアソフト
代表取締役社長 草分 公伸 氏
- 講演録 12
酒場詩人 吉田 類 氏
- HUMAN HUMAN 14
株式会社感性リサーチ
代表取締役社長 黒川 伊保子 氏
- Family's Information 15
- 支部見聞録(関西支部) 18
From 神戸

Family 2017 376号



表紙のことば (世界の橋シリーズ)
皇居二重橋
(こうきょにじゅうばし)
東京都

皇居外苑にある二重橋は言わずと知れた東京観光の人気スポット。手前に見えるのが「正門石橋」。奥の橋が「正門鉄橋」でこちらが二重橋と呼ばれている。現在の橋は1964年に架け替えられたものだが、橋が架けられた江戸の昔(1614年)、木造の二重構造であったことが、その名の由来。どちらの橋も、新年の一般参賀や宮中の公式行事の際にのみ利用されている。

FUJITSUファミリー会

支部特集

~2017年度の活動に向けて~

北海道支部



山田 隆一 支部長
北海道ガス(株)

**有意義で魅力的な行事により
さらなる会員の維持向上を目指します**



女性が活き活きと働くためのセミナー。ストレスリカバリーによる自分の強みを探すワーク

2016年度の活動回数が昨年度比で26回増の合計100回に達しました。これは、オンラインセミナーの回数増、地方行事の回数増、女性セミナーの回数増などにより、参加機会の拡大を図ったためです。

2017年度においては回数だけではなく「質の向上」と、参加者の満足度向上を目指し進

めていきたいと思えます。そのためには、魅力ある講師の選定や半日コースから1日たっぷり時間をかけたコースへの変更など、参加して良かったと思っていただける行事の推進に務めます。女性セミナーでは企画力アップを目指して委員会メンバー増強も行います。新春クイズ大会など支部独自の活動も引き続き実施してまいりますので、ますますのご参加をお待ちしております。

東北支部



小野 木 克之 支部長
(株)河北新報社

**継続は力なり！東北の未来に
タスキをつなぎ続けます**



支部総会第一号議案発表の様子

3月8日に東北支部総会を実施、ご参加の皆様と委任状をもって全ての議事が承認されました。記念講演ではNPO法人ベースボールスピリッツ理事長の奥村幸治氏より、強い心をつくるための心・技・体と継続することの大切さなど、人財育成のヒントをご自身の経験をもとにご講演いただきました。「継続は力なり!」

2017年度も、会員一人ひとりのご意見を大切に、皆様とともに人財豊かな東北の明るい未来へ貢献してまいりたいと考えます。遠方に出向かずとも参加可能なICT系のオンラインセミナーは東北6県開催。また好評のヒューマンスキルアップセミナーは、新人、リーダー、女性と、階層ごとにマインド育成と自己の能力を高め、ディスカッションを通し会員相互の意見交換の場としても有意義です。ぜひ、お気軽にご参加ください。

信越支部



赤沼 正信 支部長
オリオンシステム(株)

**会員間のつながりを強くしていきます
~分科会活動 発足30年目に向けて~**



ダイバーシティフォーラム(女性向け)
『ハッカソン 2017 in Nagano』

2016年度は、「親子 de ファミリー会」や「イブニングセミナー」といった新しい形態の行事を開催しました。また、近隣の北陸支部との合同事業(幹事会・セミナーなど)により、会員の参加機会拡大と支部間交流を図ってまいりました。

2017年度、信越支部の継続活動として位置づけられている「分科会」活動

は、630名もの会員が卒業しており、本年は30年目を迎えます。記念の年となるべく活動を工夫してまいります。また、前年度からの継続行事や新しい切り口での行事も盛り込みます。役員全員が前年度より継続いただき、さらに結束の固い役員体制で支部活動を盛り上げてまいります。

皆様の各行事へのご参加を心よりお待ちしております。

FUJITSUファミリ会は、会員の方々の「異業種交流」「情報収集」「人財育成」の促進を目的に、様々な活動を展開しています。2017年度の活動に向け、各支部からのメッセージをご紹介します。

関東支部



丹呉 長之輔 支部長
水澤化学工業(株)

1,000会員の一体感を醸成し “本当に役立つ活動”を追究します

支部長就任5年目を迎えました。就任以来、多くの会員各位に活用いただける活動を目指し、ICT系行事の増加や行事回数増など様々な改革を行ってまいりました。その結果、2016年度は年間の行事参加者数5,881名と4年連続の増加となりました。加えてファミリ会全体の会員満足度と活動の裾野を広げるため、関東支部行事のライブ映像を各支部にオンラインで配信。昨年度比2倍以上の2,302名もの参加者を得ました。こうした活動を背景に2012年度には900を下回りそうだった会員数も1,049会員にまで回復しました。



関東支部総会の様子

2017年度は、課長層の見識を高める行事の新設など、「本当に求められている活動とは何か?」をさらに追究しながら、関東支部1,000会員の一体感が醸成できる、有意義で質の高い活動を志向してまいります。本年度もどうぞご期待ください。

北陸支部



三谷 忠照 支部長
三谷産業(株)

多数の新入会員企業様を お迎えいたしました!

2017年度も引き続き、支部長を務めることとなりました三谷産業(株)の三谷忠照です。昨年度は秋季大会を北陸の地で盛大に開催することができました。また、それに伴い会員数拡大に注力することができ、年初から48増の191会員となりました。

新入会員様はぜひ、積極的な各行事へのご参加をお待ちしております。2017年度は今まで以上に、人材育成セミナーや関東支部がオンラインで配信しているセミナー、ICTセミナー、女性向けセミナー等、魅力的な行事を実施いたします。さらに活動内容も充実し、会員満足度アップを目指してまいります。

今後とも北陸支部をどうぞよろしくお願い申し上げます。



北陸支部総会 特別講演会
講師：信州大学教授 真壁 昭夫 氏

東海支部



風間 隆男 支部長
静岡新聞社・静岡放送(株)

共に創る 豊かな人材 豊かな未来

2017年度より支部長を拝命しました。皆様とともに東海支部を盛り上げたいと思いますので、よろしくお願いします。

2017年度は、以下の3ポイントにもとづき活動を推進いたします。

- ① ICT要員の基盤となる
スキル・ノウハウの習得
- ② ユーザー目線での ICT 情報提供
- ③ 会員同士の交流

新たな取り組みとしては、従来の「地域別セミナー」だけでなく、「業種別セミナー」を開催し、身近な課題の共有や解決のヒントとなる情報提供を行います。また、「イブニングセミナー」「ファミリー向けイベント」の充実や定着化を図り、会活動の幅を広げ、新しい価値を生み出す取り組みを進めてまいります。皆様の積極的なご参加をお待ちしております。



支部総会懇親会。風間支部長を中心に中締め

関西支部



有司 順一 支部長
近鉄情報システム(株)

女性の活躍推進、親子セミナー、 アイデアソン等、多彩な活動を展開

2016年度の関西支部は、若手向けの研修や講演が人気を集め、年間総参加者数は延べ4,300名を超えました。2017年度も、人気の「ネットワーク」「データベース」「情報セキュリティ」のICT入門研修や、「ビジネスライティング」「企業財務」など業務に役立つ研修を引き続き開催いたします。

また、女性向け研修でも「女性サポーター委員会」を新メンバーで立ち上げて、女性の視点で企画・運営を実施します。会員交流では、「イブニングセミナー」として、音楽ライブなど、笑顔いっぱいの活動も計画しております。

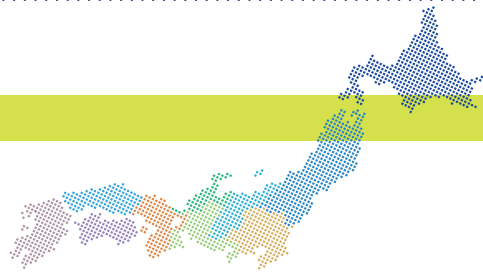
新企画としては、「親子セミナー」や「アイデアソン」も盛り込み、幹事が一丸となり、より一層の活動の充実を目指してまいります。ぜひ、会員の皆様の積極的なご参加をお待ちしています。



2016年度関西支部総会 特別アトラクション
ミニライブ『歌舞伎を彩る長唄三味線の魅力』

支部特集

～2017年度の活動に向けて～



中国支部

新たなチャレンジへ。
「来てみんなさい」広島！



渡辺 泰朗 支部長
(株)マイティネット

今年度は秋季大会が広島で開催されます。中国支部にとってのメインイベントを、幹事を中心に、中国支部で盛り上げてまいります。全国の皆様のお越しを、心よりお待ちしております。

支部活動方針としては、支部間連携による均質化を図るため、中国地区全県6カ所(広島、福山、岡山、山口、鳥取、島根)で、「旬な ICT 情報を得られる」と好評なオンラインセミナーを継続して開催します。次に、地域密着型活動として、情報交流会、企業見学会、親睦会の企画運営などを行います。また、会員同士の人的ネットワーク作りの拡充を図るため、女性フォーラムやファミリー参加型イベントのメニュー作りなどにも新たに取り組みます。

今年度も新しい試みを取り入れ、魅力ある中国支部を目指します。

ぜひ、会員の皆様の積極的なご参加お待ちしております。



2016 年度中国支部総会

四国支部

広げる知識、会員の輪
～家族 de ファミリー会～



石元 啓介 支部長
(株)穴吹カレッジサービス

2017年度は、人材育成はもちろんのこと、会員の家族も参加できる家族参加型の行事を増やして、会員同士や家族同士がより一層交流できるようにしています。

ヒューマンスキル研修の定例行事として、新入社員研修(2日間)、若手社員研修(中国支部と合同開催・3日間)、中堅社員研修(中国支部と合同開催・2日間)、そして新たに課長職研修(1回目2日間、2回目1日)を追加し、新人から管理職までの一貫した研修ができるようにしました。その期間中に身に付けていただきたい様々な知識やスキルを考慮した研修を開催するようにしています。



みんな真剣に聞いています
(和食マナー講座)



香川のおん餅雑煮をいただきました
(和食マナー講座)

九州支部

がんばろう熊本・大分 九州はひとつ
～Family Q～



飯屋 博 支部長
公益財団法人
産業雇用安定センター

2016年度は、オンラインセミナーの受信地区を増やし、参加機会拡大を図りました。11回目となった「フォトコンテスト」では、応募作品を九州支部オリジナルカレンダーに採用させていただき「Family Q カレンダープロジェクト」という新たな企画も追加して実施しました。

2017年度は、毎年好評のリーダーズフォーラム(合宿)、レディースフォーラム、ICTスキルアップ研修、ビジネススキルアップ研修、システム研究会等に加え、「熊本地震復興支援活動」にも力を入れます。九州支部会員の絆をもって、継続して「復興支援活動」に取り組んでいくことを総会で宣言いたしました。特に「子供たちが笑顔になれるイベント」として、親子イベント等を企画実施していきたいと思っております。



九州支部の意志表明として作成した復興祈念メッセージボールペン



2016 年度九州支部総会 (3月3日)

沖縄支部

魅力ある活動で100会員突破を目指します！



小波津 勝 支部長
(株)システム・ビット

2016年度は過去最高の25回の行事を開催、また、延べ500名の方に行事参加いただき無事終了いたしました。ありがとうございました。

支部行事の締めくくりとなる総会記念講演会では「免疫力を高める生活習慣～きれいな社会の落とし穴～」と題し藤田紘一郎氏にご講演いただきました。ご自身の体験を交え健康についてわかりやすくお話いただき、会場が笑いに包まれていました。

2017年度は新たに2名の幹事が加わり、体制強化して新たなイベント企画にも取り組んでまいります。特に女性や若手に喜ばれる企画開発に注力していきますので、ご期待ください。

沖縄支部は魅力ある活動で会員の輪を広げ、会員数100会員突破を目指します。

沖縄支部は魅力ある活動で会員の輪を広げ、会員数100会員突破を目指します。



支部総会記念講演会
講師：藤田 紘一郎氏

FUJITSUファミリー会 2017年度 春季大会の お知らせ



◆開催日 **2017.5.19 (金)**

◆開催場所：帝国ホテル
(東京都千代田区)
「富士の間」(本館 3 階)

◆募集定員：600 名

プログラム

- 14:50 ~ 受付開始
- 15:20 ~ 16:00 式典
[挨拶 / 2016 年度 論文表彰]
- 16:00 ~ 17:20 記念講演
- 17:35 ~ 19:00 懇親会

お申し込み
<http://jp.fujitsu.com/family/>
5月15日(月)必着

記念講演

『相手に伝える、伝わる話し方』

キャスター、アナウンサー
よしかわ みよこ
吉川 美代子 氏

1954年5月8日生まれ
神奈川県横浜市出身
早稲田大学教育学部卒



◆経歴◆

1977年4月TBS入社、以後37年間、アナウンサー、キャスターとして活躍。またTBSアナウンススクール校長を12年間務めた。2014年5月に定年退職。

◆出演番組(テレビ)◆

1983年「JNN おはようニュース&スポーツ」キャスター (TBS初の女性キャスター)
1984年「JNN ニュースコープ」キャスター 1990年「JNN ニュースの森」(土、日)キャスター 2000年「CBSドキュメント」キャスター
「ウォッチ!」「ピンポン!」などでコメンテーターを務め、2005年「みのもんたの朝ズパツ!」コメンテーター
●フジテレビ「みんなのニュース」「ニュースな晩餐会」「ごきげんよう」●TBS「いっぶく!」「櫻井有吉アプナイ夜会」「マツコの知らない世界」●日本テレビ「行列のできる法律相談所」「人生が変わる一分間の深い話」「メレンゲの気持ち」●テレビ朝日「徹子の部屋」●テレビ東京「たけしのニッポンのミカタ!」ほか

FUJITSUファミリー会共催 富士通フォーラム 2017

「富士通フォーラム 2017」では、ファミリー会入賞論文の発表のほか、各界の有識者や経営トップおよび富士通の役員による講演や各種セミナー、富士通の最新 ICT ソリューションの展示等を予定しています。ぜひ、ファミリー会・春季大会の前に、ご来場ください。

◆開催日：2017年5月18日(木)・19日(金)
10:00 ~ 18:00

◆開催場所：東京国際フォーラム (東京都千代田区)

お申し込み

以下の URL より

<http://forum.fujitsu.com/tokyo/e/>

[5月17日(水) 12:00 まで]

富士通フォーラム事務局

E-mail: contact-forum-tokyo@cs.jp.fujitsu.com

Tel: 03-5520-5814 (受付時間 9:00 ~ 17:30 土・日・祝日を除く)

Close-Up

子どものプログラミング教育

—ICT利活用社会を生きる普遍的な力—

ICTがビジネスや暮らしの基盤となっている中で、人材不足が世界的規模で懸念されている。米国においてすら、2020年には140万人の求人に対して情報系学科の学生は40万人であり、絶対的な不足が予想される。こうした背景から、各国がプログラミングの必修化・義務教育化を進めており、日本においても第四次産業革命に向け、社会人のイノベーション人材の養成や、大学・大学院における専門スキルの習得を推進。2020年からは小学校でプログラミング教育の必修化も予定している。ICT人材の育成のみならず、21世紀に求められる問題解決力と論理的思考力の習得を狙いとし、国民全体のICTスキルの底上げを視野に入れている。小学校のプログラミング教育の動向や実際の教育事例、文部科学省の新学習指導要領などから、子どものプログラミング教育の最前線を考察する。



深刻なICT人材の不足

日本では人口減少に伴い、2019年をピークにICT関連産業への入職者が退職者を下回り、2020年には約36.9万人、2030年には約78.9万人のICT人材が不足すると予想されている。加えて、平均年齢は2030年まで上昇を続け、将来的にはICT関連産業全体としての高齢化も進むと見られている。また、ビッグデータ^{*1}、IoT、AI、モバイルなど、従来と異なるICT需要が生まれ、質的な不足にも直面している。

こうした背景から、総務省は2025年までの10年間で、最大200万人規模(100万人増)の人材創出と、最大60万人規模の産業間人材移動の達成を目指す方針を、2016年7月に示した。コスト削減に取り組んできたICT企業中心の「日本型」から、ユーザー企業が自社の事業を熟知する技術者によって「新たな製品やサービス」を創出する「米国型」へと転換を図ることが想定されている(図1)。



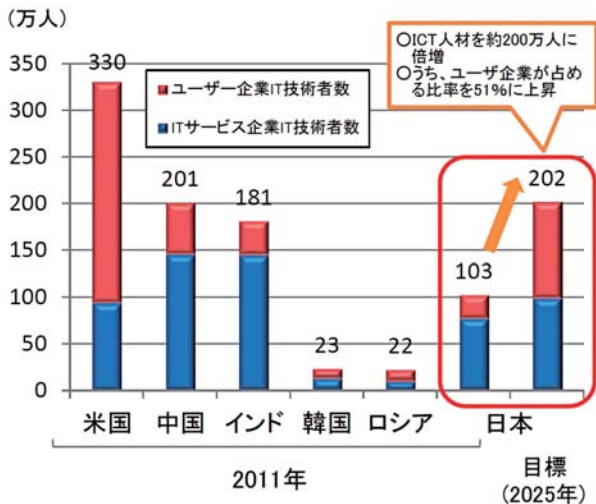
小学校におけるプログラミング教育必修化までの動き

中学校の技術・家庭科では、2012年4月より「プログラムによる計測・制御」が選択科目から必須科目となっている。文部科学省の「プログラミング教育実践ガイド」では、9～13時間の授業の中で、ビジュアルプログラミング言語(後述)やC言語等を使って車型ロボットを動かしたり、信号機を模したボードのLEDを操作したりする授業が紹介されている。

小学校では課外活動等でのプログラミング体験にとどまっていたが、楽天の三木谷浩史氏の発言をはじめとして、必修化の議論が活発化していく。三木谷氏は2013年4月に開催された日本政府が開催した第6回産業競争力会議において、日本の情報系学科卒業生の人口に対する割合が他の先進国に比べて低いこと、また外国人技術者の受け入れ数が減少していることを問題提起。エンジニアの質向上と大幅な増員に向けた施策の1つとして、義務教育課程等における早期教育と興味喚起を提案した。

その後も議論が重ねられ、2016年4月の第26回産業競争力会議において、安倍首相が初等中等教育からのプログラミング教育必修化を明言。文部科学省も、2020年度からの新学習指導要領において、中学校での新しい内容の追加と、高校での必修科目化(現在は選択科目)とともに、小学校でのプログラミング教育の必修化を検討することを発表した。

※1 経済産業省「IT人材の最新動向と将来推計に関する調査結果」2016年6月10日



■図1 ICT人材数の国際比較 (推計)

出典：「IoT/ビッグデータ時代に向けた新たな情報通信政策の在り方」(平成27年諮問第23号)に関する情報通信審議会



■図2 Scratchのプログラミング画面例

世界のプログラミング教育の動向

米国では、大手ICT企業が協賛して2013年1月に設立された非営利組織「Code.org」(コードドットオーグ)が、教材やカリキュラム、教員研修を学校へ提供するとともに、各州のカリキュラム改訂も支援し、米国におけるプログラミング教育を下支えしている。

また、クラスやグループで参加できる年次イベント「Hour of Code (アワーオブコード)」は、180カ国以上から数千万人が参加し、世界的な子ども向けプログラミング教育推進運動となっている。

アイルランドでは、2011年に誕生したコンピュータクラブが、地域のボランティアでプログラミングを教える小規模な教室「CoderDojo (コーダー道場)」へ発展。それがヨーロッパを中心に広がり、7~17歳のあらゆる子どもにプログラミング学習の機会を提供することを目的とした非営利組織として、現在は70カ国で1,200 (うち日本は70以上)の道場が開かれるまでに拡大している。

日本の小学校に相当する初等教育段階でプログラミング教育を必修化している国に、イギリス、ハンガリー、ロシア、オーストラリア、フィンランド^{*2}がある。例えばイギリスでは、それまで5~16歳を対象に必修化していた教科「ICT」の学習内容を変更し、2014年9月よりコンピュータサイエンス/IT/デジタルリテラシーを指導する「Computing」を新設し、コンピュータサイエンスを学ぶ手段としてプログラミングを活用している。

人気・注目のプログラミング学習ツール

現在注目されているプログラミング学習ツールには以下のようなものがある。

- 小学生はキーボード入力によるコードの記述は難しいため、マウス操作で直感的にプログラミングできる「ビジュアルプログラミング言語」が使われる。世界で最も普及している「Scratch(スクラッチ)」は、米国マサチューセッツ工科大学(MIT)が無償提供している8~16歳向けのツールで、命令を表すブロックを組み合わせてインタラクティブストーリーやゲーム、アニメーションが作れる(図2)。
- イギリスで子ども用学習教材として2012年に発売された手のひらサイズの低価格PCボード「Raspberry Pi (ラズベリーパイ)」は、通常のPCとして使えるほか、プログラミングで電子部品や回路、自作ロボットを制御できる。
- 子どもたちに人気のゲーム「Minecraft(マインクラフト)」は、2009年にスウェーデンの会社(現在はMicrosoft子会社)で開発された、仮想空間に立方体ブロックで自由に構造物を造っていくサンドボックスゲームである。プログラミングにより仮想空間内でブロックの積み上げを自動化できる。
- 玩具メーカーLEGOとMITが共同開発した教育用組み立て式ロボット「教育版レゴ マインドストームEV3」は、CPU内蔵のインテリジェントブロックにモーターやセンサーを接続した自作ロボットの動きをプログラミングできる。
- ソフトバンクのパーソナルロボット「Pepper(ペッパー)」は、PythonやC++などで直接コーディングできるほか、ビジュ

*2 文部科学省が2015年に公開した「諸外国におけるプログラミング教育に関する調査研究報告書」より。同書における2016年に必修化予定の国も含む

ルプログラミング言語Choregraphe(コレグラフ)を使って Pepperの動きや声をプログラミングできる。

○コンピュータを使わないプログラミング学習も注目されている。ニュージーランドで開発された「Computer Science Unplugged (コンピュータサイエンスアンプラグド)」は、カードなどを用いたゲームやグループ活動を通して、コンピュータの基本的な仕組みを学ぶ学習法である。



プログラミング学習の広がり

日本では2013年頃からプログラミング教室や講座を開催する団体が急増している。2013年10月に開校した小学生プログラミング教室最大手のCA Tech Kids(サイバーエージェント子会社)は、全国8教室で約1,200人にプログラミング学習を提供。Scratchでプログラミングの基本的な知識や概念、考え方を身に付けた後、iPhoneアプリ開発、Androidアプリ開発、3Dゲーム開発の3コースから選択できる。

プログラミングコンテストも多数実施されるようになった。これまでは中学生以上が対象であったが、2016年には小中学生にフォーカスした「全国小中学生プログラミング大会」が登場。応募者は小学生と中学生がほぼ5割ずつで、上位入賞には小学生の女子生徒の作品もあった。2017年の開催もすでに決定している。

保護者の関心も高まってきている。「2017年、何の習い事をさせたいですか(させる予定ですか)」というアンケートでは、スポーツ系や英会話スクールを抑えてプログラミングが1位にランクイン。また、「子どもにプログラミングを学ばせたい理由は？」というアンケートでは、「将来的に重要・必須のスキルになりそうだから」「職業の選択肢が増えそうだから」が他を大きく引き離しており、子どもの将来に役立つと考える保護者が多い。

FUJITSUファミリー会においても、2016年8月にプログラミング体験を含む夏休み親子向け特別企画を実施(関東支部)。ICTへの興味を喚起することも狙いの1つで、親子が協力しながらのプログラミング体験は好評であった。また保護者からは「娘は帰宅後に妹や妻にレクチャーをするほど興奮していた」「バーチャルリアリティやロボットへの子どもの関心の高さを認識した」などの声が寄せられた。



プログラミング教育に関する議論

文部科学省は2017年2月、検討を進めていた新小学校学習指導要領の改訂案を公表。算数と理科、総合的な学習の時

間において「プログラミングを体験しながら論理的思考力を身に付けるための学習活動を行う」ことを盛り込んでいる。プログラミング教育の目的は、高度なICT利活用社会を生きる子どもたちに求められる力、すなわち、複雑な文脈の中から読み取った情報をもとに論理的・創造的に考え、解決すべき課題や解決の方向性を見出し、多様な他者と協働して新たな価値を創造していく力を育てることである。

そして、自動販売機やロボット掃除機など、身近な生活の中でもICTの恩恵を受けていることに自ら気づくとともに、それが「魔法の箱」ではなくプログラミングによって人間が意図したように動かされることを理解すること。さらに、意図した通りに動かすにはどのような動きが必要で、それらをどう組み合わせればいいのか、意図した通りに動かなければどのように改善していけばいいのか、を論理的に考えていく。こうした「プログラミング的思考」は、プログラミングやICTのあり方がどのように変化していても、普遍的に求められる力である。

必修化には反対意見もある。「思考力や表現力は他の教科でも身に付くのでは」「数学的な力のない段階で効果はあるのか」「コーディングは時代によって変わるから無駄では」など。しかしこれは、プログラミング教育の定義や目的の整理が進んでいないことも一因である。コーディングを覚えることがプログラミング教育の目的であるとの誤解も広がっており、そうした中にはコーディング経験を持つ人も多い。しかしビジュアルプログラミング言語によって、未就学児や小学校低学年でも2次元座標や角速度(回転)の概念を理解させることや、機械的に教科書に書いてあることを覚えるのではなく自分で動かして納得する学びにつながることもできる。「小学校でプログラミング」という言葉だけが先行しないよう、関係者や世論へのさらなる啓発が求められる。子どもが楽しそうにプログラミングで遊んでいるのを見て、保護者の理解が進むケースも多く、体験会や親子で楽しめる機会を設ける取り組みも求められる。



2020年度の必修化に向けて

必修化に向けては現場の課題も多い。どのような学習を実施するかは各学校が計画を立てて実行するよう定められており、学習時間のやりくりも必要になる。また、ICT環境の整備や指導者の確保も急がなければいけない。

例えば、いち早く準備に取りかかっている神奈川県相模原市は、市立旭小学校で2017年2月、プログラミングを取り入れる試みを4年生の国語科で実施。子どもたちは口

※3 株式会社イー・ラーニング研究所「年末年始の子どもの習い事アンケート」より

※4 株式会社学研ホールディングス「子どものプログラミング教育 意識度」より



■図3 富士通のロボットプログラミング授業（千葉県長生郡一宮町）

ロボットプログラミングの体験後、報告文を作成する課題に取り組んだ。プログラミング教育で目指す資質や能力が育成されたという成果の一方で、市内全小学生に対する実現に向けては前述のような現場の課題を認識。今後は企業とも連携し、市教育委員会主催の教員向け研修の実施や環境整備に取り組んでいく。

CA Tech Kidsは、個人のみならず学校や地方自治体にもプログラミング教育サービスを提供。茨城県つくば市主催の小学生対象のワークショップや、立命館小学校での課外活動や長期休暇を利用したプログラミング学習など、現場支援を展開している。

文部科学省と総務省、経済産業省は2017年3月、教育・ICT関連企業・ベンチャーなどとともにプログラミング教育を普及・推進するための「未来の学びコンソーシアム」を設立した。同コンソーシアムでは今後、教育委員会や学校現場の事例紹介、学校現場のニーズに応じた教材開発（学校と教材会社等のマッチング）・学校支援（教育委員会と企業等のマッチング）を展開していくとしている。

これからの社会を創りだしていく子どもたちが、社会や世界と関わって自らの人生を切り拓いていくために、プログラミング教育は、学校関係者だけではなく、民間やNPO、そして地域や家庭との連携も求められている。

富士通の取り組み

富士通は2015年から2回にわたり、千葉県長生郡一宮町のすべての小学6年生を対象としたロボットプログラミング授業を開催した。房総半島のサーフタウンとして各地から若

者が集まる同町では、若い子育て世代の移住者の増加を図るべく、地方創生交付金を教育環境の整備に活用している。

授業教材には教育版レゴマインドストームEV3を使用。千葉工業大学が研究開発中のロボットのデモンストレーションを行ったり（2015年度）、千葉県立一宮商業高校がサポーターとして授業に参加するなど（2016年度）、地元の応援も受けながら子どもたちはロボットの組み立てとプログラミング、そして自分が意図した通りにロボットが動く様子を楽しんだ（図3）。

ICT教育に力を入れている同町では、校内に無線LANを配備し、富士通製のサーバとタブレット（教師用および児童用）の間でのデータのやり取りが可能な環境も整えている。今回の授業は、富士通エフ・オー・エムが講師を務めるとともに新たに開発した学校向けのロボットプログラミング授業サービスを提供。また、担任教員が子どもたちのプログラミング学習を補助できるよう事前の教員向け研修も行った。

富士通は今後も文教分野における実績やノウハウを活かし、学校でのICT利用を促進していく。

● 富士通関連サイト

千葉県一宮町の小学校で、ICTに親しむ「ロボットプログラミング授業」を実施
<http://journal.jp.fujitsu.com/2016/03/30/01/>

<参考資料>

○小学校段階における論理的思考力や創造性、問題解決能力等の育成とプログラミング教育に関する有識者会議

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/122/index.htm

○未来の学びコンソーシアム

<https://miraino-manabi.jp/>

〈監修〉編集委員 山宿 信也（株）マルハン



Kiminobu Kusawake

くさわけ きみのぶ / 1958年生。京都コンピュータ学院卒。1980年三井金属鉱業株式会社入社。計数室で鉱量計算、原料代計算、さらに関連企業のオフコン導入などに携わる。1992年株式会社ユアソフト入社。営業職として関連会社へのICT展開やSAP ERPテンプレートの外販を担当。2011年より現職。オフィスでは日本語、英語、中国語が飛び交い、上下関係の隔てがない自由で闊達な社風。自身も積極的に社員と交わる工夫をし、神経を集中する仕事だからこそその気持ちの切り替えを大切に考えている。

無我夢中で取り組んだ 初めてのオフコン導入

入社試験のとき初めて日本橋室町にある三井本館を訪れました。1998年に国の重要文化財に指定された歴史的建造物で、その荘厳な面持ちに圧倒され緊張感でいっぱいになったことを覚えています。1980年に三井金属鉱業に入社し、このビルに勤務することができたのは得難い経験でした。入社当時は鉱量計算や原料代計算など非鉄製錬事業特有のシステムに携わりました。

その後、三井金属のグループ企業6社へオフコンを導入する担当となりましたが、この経験が私の職務における大きな糧となりました。というのは、上司である当時の課長と私の

二人だけでこの業務を進めることになったため、多くのプロセス、様々な現場の状況を学ぶことができたからです。二人で担当したのは、当時の三井金属がオイルショックや円高の影響から経営状況が厳しく多くの人員を割けなかったことが理由ですが、私にとってはオフコンのノウハウ取得から、詳細設計、開発、運用定着まで一貫して携わることができた貴重な経験でした。コンピュータのことはわかっている、実業務の詳細は理解していませんでしたから、会計、総務、人事、給与など現場の方がそれぞれ丁寧に教えてくださったことがとてもありがたく、現在へつながる大きなスキルとなりました。このオフコン導入後に本社会計の核の一つである原価計算システム担当となりました。責任も重大でしたが非常に

やりがいのある日々でした。

1980年代後半は様々な分野でコンピュータリゼーションが進み、SE不足が社会問題として取り沙汰されるようにもなりました。こうしたニーズを見込み、コンピュータシステム部門を独立させ事業を拡大するという目標のもと、1989年に株式会社ユアソフトが誕生したのです。

ただ、1990年代にはバブル崩壊もあって受注は思うように進まず、ユアソフトの滑り出しは順風とは言えませんでしたが、しかし、事業所に点在するホストコンピュータを統合するというビッグプロジェクトの際には、外部ベンダーによる失策を速やかにリカバリーするなど、三井金属の業務を熟知する高いスキルはグループ内での信頼を勝ち得ていきました。

画期的な、SAP ERPの グローバル1システム導入

1997年には、2000年問題に端を発した基幹システムの統合という三井金属グループ全体にかかわる大きなプロジェクトが動き出します。これは事業の多角化とグローバル化に対応するため、国内外55社の基幹システムをSAP ERPで統一するという当時としては画期的な計画でした。

三井金属グループは非鉄製錬事業を中核としていましたが、自動車部品や銅箔、伸銅、セラミックス、電池材料などの製造・販売、さらに商社もあれば、エンジニアリング、サービス、当社のようなITもあります。予想はしていましたが、自社の業務には適応できないと申し出る会社も少なくありませんでした。業務プロセスやルールの違いを越えてグループ統一を図るためには、SAP標準の機能・プロセスに準拠して業務の整理を行うことが必要でした。各社には説明と説得を繰り返しながら導入を進め、その過程で取引先や業務に支障を来すものだけを追加開発し、ソフ

トウェア本体のモディフィケーションは一切行いませんでした。こうすることで、導入時は苦勞しても、稼働後のビジネス変革、機能拡張、アップグレードや法改正などに素早く対応することができています。

現在では国内外の55社がグローバルシステムで業務運営されています。データが一元管理されることにより、見える化の速度と精度を向上させ、連結決算のスピードアップに貢献しています。また、世界中で同じオペレーションが通用するため、転勤時の引き継ぎ軽減というメリットも生まれました。さらにはICTの二重三重投資や運用経費を削減し、戦略的なICT投資への振り分けを実現したことも評価につながっています。もちろん、このような業務改善とともに、監査の透明性というグローバル企業としての矜持を保つことにも寄与しています。

このプロジェクトを進めていく中で、当社に対する信頼感も増していききました。これまでは、会計、販売、購買、生産、在庫、原価といった基幹システムをグローバルで統一してきましたが、現在はさらに、生産計画や設備管理といった現場寄りのシステムやIoT、ビッグデータ、AI、ビジネスサポートを行うWeb系システムもグローバルでの統一を進めています。

増ったノウハウを活かし SAPテンプレートを外販

業種の異なるグループ企業にSAP ERPを導入した経験とノウハウをもとに構築したテンプレートが「REALMODEL(リアルモデル)」です。リアルモデルは、現在、220社を超えるお客様にご利用いただいております。製造業や商社から小売、通販、IT、サービスと多岐にわたります。リアルモデルは短期・低コストで実業務にもとづいたシナリオと機能が準備されていることが特長で、企業規模にか



若手の成長を兄のような気持ちで見守る

かわらず、ご好評をいただいています。今後は、外販体制を強化し、パートナー企業との信頼関係も育みながら、リアルモデルを活用いただける機会をより幅広く展開していきます。

三井金属グループの実践フィールドで培ったノウハウを付加価値として昇華し、これを商品化してグループ外へ発信する。さらにグループ外のお客様からの意見やニーズをグループ内のシステムにも反映させる。このようにスパイラルな成長を遂げることが当社の目指すところであり、また当社が持つ強みだとも考えています。

企業の発展に必要なのは 国籍や学歴より意欲

当然ながら、当社には三井金属グループの一員としてグループ全体の発展に寄与することが求められます。しかし、安穩とグループ内の業務だけをこなしては、ICT技術者としての成長や刺激が限定的なものになってしまうことも懸念されます。井の中の蛙にならぬよう、常に厳しさを持ってスキルを磨くためにはグループ外のお客様とのプロジェクトが不可欠だと考えています。2011年に社長に就任して目指したのは、内部と外部の仕事のバランスを取りながら、会社のポテンシャルを高めていくことです。

中期経営計画では「見えないものを

〈とっておき〉

北海道へGO!

10年ほど前から、小さな頃から親しんだスキーマの魅力を改めてとりつかれている。数日の休暇が取れたときには北海道のパウダースノーを目指す。滑りを満喫した後の温泉と北国の居酒屋での触れ合いを楽しみながらの一杯は格別!だとか。

見えるようにするためのIT化推進」「ノウハウ・スキルをリターンするための外販事業」「ありがたい人材像の実現と人材確保」という方針を策定しました。当社の社員採用においては国籍や学歴は不問で「ありがたい人材像」を焦点に求人を行います。積極的に自分を高めようとし、好奇心と厳しさを持って仕事に挑戦する意欲を持った人こそ会社にとって重要です。

社員にはまず自ら手を挙げなさいと話しています。手を挙げることで責任感が生まれ、仕事に対する自覚が持てるのです。そうしたチャレンジ精神を持つ社員には海外研修や公的資格取得に対する教育補助制度などへの道が開けますが、何のためにどういうメリットがあるのか、どう仕事に活かせるのかを社員からきちんと説明してもらいます。社員一人ひとりが自立したプロフェッショナルであること、企業としてこれほど強いことはないと思います。

company profile

株式会社ユアソフト

●所在地:

〒506-1147

岐阜県飛騨市神岡町東雲 785

TEL 0578-82-3811(代)

<http://www.mitsui-kinzoku.co.jp/group/yoursoft/>

●設立:1989(平成元年)

●資本金:5,000万円

●売上高:23億円(2016年3月期)

●従業員数:85名(2016年4月1日現在)

●一般投資会社:

株式会社ソフィア総合研究所

講演録

酒場詩人の流儀 ～旅と酒場とふれあいと～



2016年度
関東支部総会
特別講演

酒場詩人
吉田 類 氏

profile

よしだ るい 高知県生まれ。酒場や旅をテーマに、イラストレーター、エッセイストとして活動するかたわら、俳句愛好会『舟』を主宰。BS-TBSにて「吉田類の酒場放浪記」に出演。現在、出身地である高知県観光特使と仁淀川町観光大使を務める。「NHK俳句」「NHK短歌」「俳句王国」などのテレビ出演のほか、『酒場詩人の流儀』『酒場歳時記』『東京立ち飲み案内』『酒場詩人・吉田類の旅と酒場俳句』など著書多数。

● 酒場詩人の原点

「吉田類の酒場放浪記」というテレビ番組が、今年で14年目を迎えました。ただ普通にお酒を飲むだけという全く計算のないところがうけたようで、多くの方々から好評をいただいております。もともと私は全国を旅しながら、その地方の自然についての紀行やエッセイを書いていたのですが、夜になると地元のお酒を飲みながら郷土料理をいただく。その

スタイルをずっと続けていたので、お酒を飲んでいるイメージが圧倒的に強くなってしまい、単に「酔っぱらいのおっちゃん」と思っている方も多いように思います。しかし、最も長く親しんでいるのは俳句で、それに加えて散文詩や紀行などいろいろ書いており、本業は実は

詩人なのです。

私が生まれた高知県は自然が豊かで水もよく、「返杯」やお座敷遊びの「べく杯」など独特の飲酒文化を持つ土地柄です。子供でも神事の御神酒という形では幼い頃からお酒を口にすることはありますし、お祝い事では大人たちの酒宴が二晩や三晩続くことは当たり前で、お酒を飲むことに対して全く抵抗がない環境に育ちました。

海外で生活することが多かった若い頃は、西洋文化が一番と教育されたこともあり、飲むものもワインが主でしたが、30代後半にもなると、人は自然や自分の生まれた風土などに目を向けるようになるものです。東京

の下町で大衆酒場の魅力を知ってからは、そこになくはならない日本酒をもっぱら好むようになりました。

日本酒の魅力は、どんな料理や肴にでも合うところ。そこが、料理ごとに合う銘柄を選ばなければならないワインとの大きな違いだと思います。ですから、いろいろな日本酒を味わってみることが、日本酒を楽しむ基本です。さらに、最近では女性にも飲みやすいシャンパン系やワイン系など新しい日本酒もどんどん開発されています。ものづくりという観点から見ても、お酒は日本がトップのレベルにあるのではないのでしょうか。

● 酒場は人間力を鍛える学校

番組を見ている方々から、「どうすれば類さんのように、お店に入ってその場にすっとなじむことができるのか、そのコツを教えてください」とよく質問されます。

私は、何よりもまず「乾杯」が大事だと思っています。大衆酒場の特徴は、カウンターがコの字になっていること。お客さん同士すべての顔が見えるように作られています。常連さんというのは大抵、全体が見渡せる一番端にいるものです。初めてのお店に入った場合、カウンターの真ん中よりちょっと外したところに座るのがおすすめです。お店には実に様々な年齢や職業、経歴の方がいらっしゃいます。その中で、自分は関係ないという態度で飲んでいてはお酒もおいしくないでしょう。目が合ったら必ず挨拶をして、笑顔で乾杯をする。そして、お店の方や常連さん、隣の人におすすみを聞くのです。それだけでコミュニケーションが広がっていきますから、次第にその場に慣れてきます。

「酒場放浪記」では、一軒のお店で約2時間の撮影時間を予定しています。お店にはもちろん撮影許可をいただいておりますが、お客さんたちは

何も知りません。撮影には結構時間がかかるもので、スムーズに和やかに撮影を進めるためにも入店した5分から10分の間に、大げさに言えば人心を掌握する必要があります。ただ、それができるのも、そこにお酒があるからこそ。楽しく乾杯できれば、皆が笑顔になり、一瞬でなじむことができるのです。

大衆酒場のすばらしさは、そこで自分のコミュニケーション力が鍛えられることです。人間力を磨くための学校だと言っても過言ではありません。その力が身に付けば、どこにいても通用する人間になれるのではないかと思います。

● 自然とふれあい感性を磨く

もう一つよく聞かれることが、「あんなに飲み続けているのに、どうして体がもっているのか」ということです。「酒場放浪記」はドキュメンタリー風の番組ですから、インチキは一切できません。お酒に強い体質ということもあるでしょうが、私は自分なりに必ず体を動かすように努めています。そして最も大切なことは、ストレスをためずに仕事をやらせていただいているということです。お酒を飲んだ後に俳句を作り、詩やエッセイを書くには切り替えが必要です。クリエイティブな作業をするための創造力やひらめきを得るには、五感を研ぎ澄ますことが不可欠です。そのために私は自然の中に身を置き、そこで体を動かすようにしています。感性を養うために自然にふれることが、いかに大切かを説く学説も増えているようですが、私はもともとそのようなことを意識していたわけではなく、自分がやりたいことを普通にやっていたら自然とそのような生活になっていたのです。

私は山歩きや溪流釣りが好きで、一時期は日本の中部山岳から北海道の利尻まで大自然の中にどっぷりつ

かっていたことがありました。単独で長期間山に入ることもあり、ほぼ野生動物と同じような体験をしていました。そこで磨かれた感性が身を守ってくれていると感じています。ですから自然の中はもちろん、言葉が全く通じない海外など、初めての場所に行ってもさほど苦労をしたことはありません。

最近、中高年の方々が物事への興味をどんどんなくしているという話を聞きますが、好奇心を刺激する材料は日本列島どこにでも山のようにあると私は思っています。特に私は昆虫が好きで、旅をしながら動植物の写真をよく撮りますが、都会でもマンションのベランダにオニヤンマがいたり、カナブンとスズメバチが道端で一騎討ちをしたりする場面に遭遇します。こんなにすごい宇宙が足元にある。それが日本なのです。このようなことに感動していると、飽きるということがありません。身近に知らなかったことで刺激を受けることはたくさんあります。野性を取り戻すためにも、自然とふれあうことは大切なことだと思います。

● 日本列島の奇跡の自然に感謝

自然と人間が当たり前で共存している日本は、世界でも稀な国です。私は、幻の魚、イトウを北海道の朱鞠内湖で釣り上げました。幻と言われている魚も、こんな身近な場所にいるのです。北海道では500kgを超えるヒグマが捕獲されることがありますし、本州以南ではツキノワグマが人家のそばまで餌を食べにやってきました。このように野生の猛獣と人間が同居し、希少な動物たちと出会うこ

とができるということは、世界的に見ても奇跡と言えます。私はこの日本列島の貴重な環境に、多くの人に目を向けてほしいと思っています。

自然の恵みは、食に関しても言えます。今、和食が世界中でブームになっていますが、日本の食が評価されているのも、この自然が前提にあるからです。豊かな自然があって初めていい水が出て、いいお米がとれて、いいお酒ができる。日本人の野性あふれる自然との上手なつきあいがあってこそ、うまい酒、うまい料理です。そのことが丸ごと評価され始めています。これは日本が持つ大き



な価値であり、世界にアピールできる魅力だと思っています。

酒場詩人として、山歩きと和食、特に飲酒文化を紹介することができるのも、豊かな日本の自然と文化があるからこそ。このように恵まれた日本列島を自由に旅し、おいしいお酒とたくさんのお会いを満喫させていただけることは、本当に幸せなことだと思っています。これからもどんどん飲んでいきますので、皆さん、どこかでお会いしたらぜひ乾杯してください。

*

*



脳科学からアプローチ

実践コミュニケーション術 ③

※373号・374号に続き、ご紹介しています。



黒川 伊保子 氏

株式会社感性リサーチ 代表取締役社長／感性アナリスト。1983年奈良女子大学理学部物理学科卒、富士通ソーシャルサイエンスラボ入り社。人工知能エンジニアとして脳と感性の研究を始める。2003年世界初の語感分析法サブミナル・インプレッション導出法を発表。商品名の語感分析サービスを提供する株式会社感性リサーチを設立。独自の感性分析術が注目を浴び、感性研究の第一人者となる。2016年より明治大学スマートキャリアコース講師。近著に『日本語はなぜ美しいのか』（集英社新書）、『英雄の書』（ポプラ社）、『恋愛脳』『夫婦脳』『家族脳』（新潮文庫）など。

株式会社感性リサーチ <http://www.kansei-research.com/>

事例から発見! コミュニケーションの秘訣②

仕組みの異なる男性脳と女性脳。そのために生じやすい問題とそれに適した対応を、374号に続き事例を挙げて紹介します。

【事例3】

取引先との間でトラブルが発生。その理由を担当の女性社員に尋ねると、受注のきっかけから途中の経過、今に至るまでを細かに長々と話し続ける。「だから結局、原因は何なんだ!」と思わず声を荒げてしまいました。女性の話はムダに長くて苦手です。

[52歳 男性]

● 長い話にも意味はある

結果(ゴール)をいち早く見定めたい男性脳。それに対して女性脳は、プロセスを再確認することで真実を探ろうとします。このため時系列に沿って話すのが自然。結果を先に知りたい男性脳にとっては、「愚痴? 言い訳?」と思うかもしれませんが、女性脳は経緯を気持ちに沿って話すことでストレスを解消し、いきなり秀逸な答えを導きだしてきます。

男性脳の方は少し耳を傾け、話を聞く姿勢も大切です。実はその相手は、話をすることで自ら答えを導き出すことも珍しくないものなのです。

【事例4】

朝、出社すると同僚の女性社員から「さっき地下鉄の階段でつまずいちゃって怖かった」と声を掛けられました。びっくりして「転んだの?」と聞き返すと、「ううん、つまずいただけ」との答え。この言葉かけに何か意味があったのでしょうか。 [27歳 男性]

● 共感欲求を満たしたい女性脳

女性脳は共感欲求が強く、会話にも共感を求めます。彼女が声をかけたのは、まさしく今の自分の思いを共有し、共感して欲しかったから。転びそうになってドキドキして、会社に来てもまだその緊張がほぐれない。だれかに怖かった体験に共感してもらうことで気持ちをリラックスさせたかったのです。

この場面では、「そう、怖かったね。大丈夫?」と彼女の気持ちに共感する言葉をかけてあげれば良いでしょう。

男性脳は会話に問題解決を求めますが、女性脳は共感があれば十分満足できるものなのです。

【事例5】

部下が初めてリーダーとしてプロジェクトを担当。無事に完了したが、途中いくつか気になる点が…。どこで注意、ダメ出しをするか、そのタイミングに悩むことが多いです。 [46歳 女性]

● 叱る、男性脳と女性脳で受け入れのタイミングが異なる

結果重視の男性脳は、成功を成し遂げるとグーンと脳の免疫力がアップします。この時なら「あそこはあしたほうが良かったね」と気になる点を注意しても大丈夫です。素直に心に落ちるので効果は大。反対に失敗した時は免疫力が低下しているので注意は逆効果。その日は慰めの言葉をかける程度にし、日を改めて、冷静に理論的に伝えるとよいでしょう。

逆に成功した時に注意をしてはいけないのが女性脳。プロセス思考のため、うまくいった出来事は、その経過を含めて成功体験として脳に収めます。成功して満足している時にマイナスな部分を指摘されると、その世界観が崩壊、混乱をきたしてしまうのです。結果が良かったときはダメ出しをせずに「良かったね」で完結させましょう。注意したい点があれば、結果が出る前に、その場その場のタイミングで。結果が悪かったときの意見や、失敗した時のダメ出しは、プロセスと結果が一致しているため、なるほどと腑に落ちます。

さて男性脳と女性脳、その違いはご理解いただけましたか。脳の仕組みを知ることは上手な人間関係を築くための処方箋でもあります。これからも職場の上下関係、友人関係、恋人同士、さまざまなコミュニケーションに、ぜひ脳科学のエッセンスをご活用ください。

語感ポイント③ 返事は「はい」と美しく

「はい」はとても気持ちの良い語感の言葉。たった2文字の「はい」ですが、その1字ずつに込められた意味合いがあります。

「は」はもっとも早く肺の中の息が出ます。一気に口から息が出て消える、早くて儂い言葉です。「い」は舌の付け根から真ん中に向

かって強いベクトルで押し出すため、体が前に傾きます。意識の「い」でもあります。ですから「はい」は、電光石火であなただけへ行きます、という語感を持つ言葉なのです。

もう一つ、人の話を聞く時に「ええ」という返事もあります。「ええ」は舌を横に広

くして奥へ引き、筋肉の緊張点が舌の奥にあり発音点がある言葉。そのため広がり距離感を感じさせます。「すぐにやって!」と言われて「ええ」と答えると、ちょっと間延びした感じ。そんなときは「はい」という返事のほうが適しています。

Family's Information

FUJITSU ファミリー会をもっと楽しく活用していただくための様々な情報をご提供します。

FUJITSU ファミリー会事務局 E-mail : contact-familykai@cs.jp.fujitsu.com

会報 担当幹事から



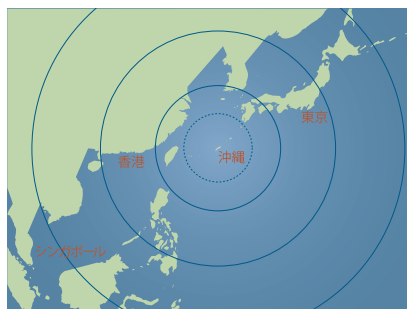
沖縄支部
兼次 寿
株式会社沖縄県農協電算センター

去る3月4日に、本誌374号の支部見聞録で紹介された沖縄空手会館の落成記念式典が開催され、来年には第1回沖縄空手国際大会も開催されます。また、この日は、語呂合わせで「さんしんの日」ともなっており、国内外で万余の老若男女が三線を持ちより演奏会が開かれました。「空手」と「三線」は、もともとは士族や王宮で受け継がれ、一般の人々への普及は百年ほど前からのようですが、時を経て、世界の人々をつなぐ文化として広がりを見せています。

現在、那覇空港の滑走路増設やモノレールの延伸も進められています。観光やスポーツに加えてビジネスでもぜひ、沖縄へお立ち寄りください。

沖繩は、中世から海上交易のネットワークを持ち、東南アジアの架け橋となってきました。近年、ICTの分野では、東京・沖繩・香港・シンガポールを結ぶGIX(グローバル・インターネット・エクスチェンジ)とデータセンターの整備が進み、国外に事業所を持つ企業のデータやコンテンツの拠点として地理的な特長を活かした役割も担いつつあります。また、那覇空港を中継地に東南アジアの主要空港をつなぐ物流ネットワークも形成されており、ICTの面

では、パーツセンターやリペアセンターの立地も期待されています。



NEW FAMILY (1~2月度ご入会分)

- 北海道 (株)サイバーシスコム
北菱フォト(株)
太平洋興発(株) 釧路支店
- 東北 地球ソリューションズ(株)
第一生命保険(株)
中水青森中央水産(株)
本荘電気工業(株)
ザ・セレクトン福島
(株)丸協
- 関東 浪速運送(株)
(株)アジレット
NTTコミュニケーションズ(株)
エヌ・ティ・ティ都市開発(株)
アクロスロード(株)
- 北陸 呉羽観光(株)
- 東海 東海プラントエンジニアリング(株)
- 関西 日立造船(株)
(株)富士通インフォテックサービス
- 中国 三谷産業(株) M&E事業部(広島)
(株)バルコム
医療法人信愛会 日比野病院
(株)RELATION
広島駅弁当(株)
- 九州 (株)オリズン
マインドソフトウエア(株)
(株)電盛社



LS 研究委員会

LS研総合発表会2017ご案内 ～2016年度の研究成果を集結～

- ・日時：2017年6月8日(木)
- ・場所：グランドニッコー東京 台場(東京・台場)

プログラム

- 9:45～ 9:55 LS研運営部会長 挨拶
- 9:55～ 12:25 研究分科会 研究成果発表
- 13:40～ 16:10 研究分科会 研究成果発表
- 16:30～ 17:40 特別講演
- 18:00～ 19:30 懇親パーティー(分科会表彰)

詳細・お申し込み

<http://jp.fujitsu.com/family/lksen/activity/annual/17/>

締切：6月1日(木)

特別講演

「歴史を学び、大局観を養う。」

『歴史研究』編集委員、
内外情勢調査会講師、
地方行財政調査会講師

加来 耕三 氏



プロフィール：

1958年10月、大阪市生まれ。奈良大学文学部史学科を卒業。学生生活を経て、1984年に奈良大学文学部研究員。現在は、大学・企業の講師を務めながら、歴史家・作家として独自の史観にもとづく著作活動を行っている。テレビ・ラジオ等の番組監修、出演などの依頼も少なくない。現在、レギュラー出演中のラジオ番組には、『すっぴん!』の「裏歴史」をめぐる旅(NHK第1放送)ほか。

Family's Information

FUJITSU ファミリー会をもっと楽しく活用していただくための様々な情報をご提供します。

FUJITSU ファミリー会事務局 E-mail : contact-familykai@cs.jp.fujitsu.com



入賞論文のお知らせ

2016年度は一般論文25編、新人賞10編の応募があり、論文委員会の厳正な審査の結果、入賞論文は優秀論文以下、次の通り決定いたしました。(最優秀論文の該当なし)



優秀論文 (賞金25万円)

ワークライフバランス実現に向けた支援とは

育児・介護社員に関する課題及び施策の仮説立案から効果検証を踏まえて

小林クリエイティブ株式会社 瀬古 美菜子 氏

秀作論文 (賞金10万円)

客先常駐型ビジネス構造の中小IT企業における人財育成の実践報告

株式会社トータルオーエーシステムズ 吉田 一美 氏、北村 雅美 氏

小中学校における学校ICT環境の現場と展望

富士通エフ・アイ・ピー株式会社 平野 智之 氏

卸売市場の現場にタブレット型コンピュータを持ち込み卸売業務の迅速化を図る

帯広地方卸売市場株式会社 佐藤 俊光 氏

新人賞 (賞金3万円)

地震・雪害などの大規模災害対策への参画を通じて学んだ三現主義の重要性

山崎製パン株式会社 佐藤 千穂 氏

「PDCA帳」の活用による基盤SE実践能力の向上

富士通エフ・アイ・ピー株式会社 伊東 洋希 氏

システム運用における課題及び改善活動について

運用自動化による工数削減・作業標準化

富士通エフ・アイ・ピー株式会社 満尾 嘉偉 氏

要件定義工程におけるデータモデルの活用について

日揮株式会社 喜多 陵 氏

CIツールの導入による開發生産性と品質の向上

東京海上日動システムズ株式会社 古澤 直人 氏

富士通
フォーラム
2017



2017年5月18日(木)
東京国際フォーラム

FUJITSUファミリー会共催セミナー

『ファミリー会論文 2016年度入賞論文発表』

富士通フォーラムにて、ファミリー会論文の2016年度入賞論文2編を発表いたします。

S14-2 15:00~15:50

2016年度ファミリー会論文 優秀論文

ワークライフバランス実現に向けた支援とは

育児・介護社員に関する
課題及び施策の仮説立案から
効果検証を踏まえて

小林クリエイティブ株式会社
経営企画部経営企画課
企画・運営担当

瀬古 美菜子 氏



2016年度ファミリー会論文 秀作論文

客先常駐型ビジネス構造の 中小IT企業における 人財育成の実践報告

株式会社トータルオーエーシステムズ
管理本部 教育部 マネージャー

吉田 一美 氏



このセミナーの聴講には申し込みが必要です。富士通フォーラムでは、この他にも各種講演やセミナー、富士通のICTソリューションの展示を予定しています。詳細はホームページをご覧ください。

<http://forum.fujitsu.com/tokyo/e/>

お申し込みは5月17日(水)12:00まで

Family's Information



エントリー締切

論文原稿提出締切

2017年 7月 31日(月)

2017年 9月 29日(金)

※エントリーが間に合わない方は、事務局までぜひご一報ください。

募集テーマ

会員企業の課題解決に役立つ様々な事例

日常業務を通じて経験された、会員に参考となるICT 事例はもちろんのこと、「グローバル展開」や「人材育成」、「コミュニケーション活性化」のようなテーマも大歓迎です。情報システム部門の方のみならず、利用部門の方々もご応募ください

賞および賞金

最優秀論文…賞金50万円

優秀論文…賞金25万円

一般論文応募者には5万円が贈呈されます！

論文執筆謝礼…2万円

Web掲載謝礼…3万円

(提出論文一編につき贈呈)

(審査の上、会員専用ホームページ「FAMILY ROOM」に掲載された論文一編につき贈呈)

秀作論文…賞金10万円

新人賞…賞金3万円

※Web掲載されない論文は執筆謝礼(2万円)のみの贈呈となります。

応募のメリット

「人材育成」と「自社の取り組みのアピール」に最適！

プロジェクトの整理

論文という形で成果を纏めることは、自身のかかわったプロジェクトを改めて整理し、体系だててものを書く非常に貴重な経験の場となります。この経験は自身の成長へ確実に繋がります。

論文スキルの向上

ファミリー会論文は、審査の事前事後に論文委員会の評価・コメントを執筆者へフィードバックする事を特徴としています。自身の論文がどのように評価されたのを知ることができ、大変勉強になります。

表彰と発表

入賞論文については FUJITSU ファミリー会 春季大会で表彰式を行います。また上位入賞論文についてはセミナーとして発表する機会を用意します。社内外に向けて自社(自部門)の取り組みを広くアピールできます。

新人賞！入社3年目までの方対象

OJTの中から学んだことや初めて携わったプロジェクトでの経験など、日々取り組んでいる業務を論文として発表してみませんか？業務を見つめ直すことでさまざまなビジネススキルが向上します。

- 応募資格：入社3年目までの方
- 募集テーマ：日頃の業務から学んだあらゆること
- 形式：小論文(本文 4,000字～6,000字程度)
- スケジュール：FUJITSU ファミリー会論文と同じ

募集要項については、論文のホームページをご覧ください。 <http://jp.fujitsu.com/family/article/>

応募時に必要な各種フォーマットや執筆の際に役立つ「執筆の手引き」、2016年度の入賞論文を含む400編以上の論文を掲載しています。



From神戸



開港150年を迎えた神戸港の歩みと未来

日本を代表する国際港・神戸は、今年1月1日をもって開港150年を迎え、あらためてその歴史や港町ならではの魅力が注目を集めている。神戸が開明的な土地柄を育ててきたのも、港の存在があつてこそ。時代を先取りしてきた神戸港の歩みと特色を訪ねよう。

港が行われ、はるか昔から貿易で重要な役割を果たしてきた。大輪田の泊と呼ばれていた平安末期、平清盛は泊を修築し、波浪を避け、日宋貿易の拠点とするために経ヶ島という人工島を築いている。僧・重源による修築を経て鎌倉時代には兵庫の津と呼ばれて国内有数の港となり、室町時代には日明貿易で栄えた。江戸時代にも国内水運の要衝であると同時に朝鮮通信使の寄港地だったという。

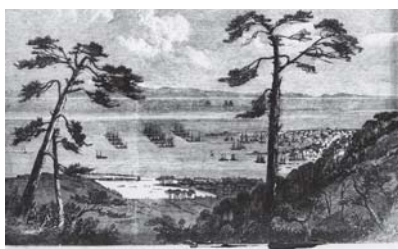
兵庫港の名で再びこの地が世界へ扉を開いたのは慶応3年12月7日、グレゴリウス暦でいえば1868年1月1日。昔からの港は現在の神戸港の西部にあったが、和船より喫水が深い外国船は水深が深い神戸村の沖合に錨泊し、運上所(税関)や居留地も神戸村につくられた。明治となってしばらく経った1878年、人口4万6,910人の神戸に外国人は1,016人。森田参事いわく「町を歩けば外国人に出会う、異国情緒豊かな雰囲気はすでにでき上がっていました」。食生活や生活様式もどんどん洋風化され、貿易を中心に産業も盛んになった。神戸市制施行の1889年には13万4,704人の都市に成長。異人館で有名な北野町に外国人が盛んに家を建てるようになったのもこの頃のことだ。

上／海上から見た神戸。すぐ背後には山々が迫る独特の景観が美しい*◎一般財団法人神戸国際コンベンション協会

昔から世界とつながっていた天然の良港・神戸

神戸では開けた場所であればどこからでも、町の背後に迫る六甲連山を仰ぐことができる。山と海の狭間に南北は狭く東西には広く、細長く横たわる地形だ。古くから良港として知られ、150年前世界に向けて開港して名高い国際港となったのも、この地形に負うところが大きい。海岸線と平行する六甲連山が季節風を遮り、横に広いため、どの方向からも船のアプローチが可能だ。「大きな川がなく、流れ込む土砂を浚渫しゅんせつする必要がありません。海底が砂地で投錨や抜錨が容易ですし干満差も1メートル内外。船の荷揚げに大きなメリットです」と神戸海洋博物館の森田潔参事は語る。

この地では常に時代の先を行く築



ロンドンの新聞に掲載された開港当時の神戸の様子



神戸港第1期修築工事。近代的な港をつくる国家プロジェクトだった

「山、海に行く」大胆手法で 進められた港湾開発

明治末からは国家プロジェクトとして近代港湾への大規模な整備事業がスタートする。この時には日本で初めてケーソン工法が採用され、1907年から神戸港第1期修築工事が、1920年から第2期修築工事が行われた。1921年には新しい神戸港の姿がほぼでき上がり、全工事が完了した1939年には神戸は100万人都市になって、世界の貿易港として華やかな繁栄を謳歌する。町には最新型のバスが行き交い、六甲にはケーブルカーやロープウェイが開通、映画や洋食、洋装を楽しむハイカラな生活文化が花開いた。

土石流で市内が壊滅した1938年阪神大水害、町が灰燼に帰し、多くの船が沈没して港に機雷が投下された1945年3月と6月の大空襲……。大打撃を受けた神戸だが、戦後はいち早く再開発計画が練られ、やがて来る高度成長期に向けて時代を先取りする港づくりを次々に行っている。

中心となったのは「埋め立て」だ。1958年からは背後の山を切り崩した土砂を使った大規模な開発が始まり、森田参事いわく「『山、海に行く』、“Mountain goes to sea”といわれて世界的にも大いに注目を浴びました」。新しい港湾用地を得るだけでなく、山を拓いた跡にも土地ができ、平坦地の少ない神戸にとってまさに一挙両得だった。運搬には住吉川の河底にダンプトラック用の専用道を設けたり、道路下のトンネル内にベルトコンベヤを敷設するなど、交通障害や騒音などを避ける効率のよい方法が工夫された。

あっと驚く神戸ならではの施策が1964年から稼働した須磨の巨大ベルトコンベヤだ。海上へ突き出した幅2.1メートルのコンベヤから、背後の山で採掘した土砂を直接底開き式のプッシュバージ(解)に落とし、埋め立て現場まで海上を輸送した。全長14.5キロメートルのコンベヤは2005年までなんと41年稼働し、ポートアイランドや六

甲アイランド、神戸空港、採掘跡地に7つの広大な団地を生み出している。

2年で成し遂げた 阪神・淡路大震災からの復興

こうした大規模な神戸港の開発の一方で、港湾流通には革命的な変化が訪れる。コンテナの登場だ。神戸では最初のコンテナ船が入港する1967年の前年に摩耶埠頭で早くも本格的なコンテナバースの建設に着手している。またポートアイランドには水深12メートルの12のコンテナバースを設けて、神戸港は1973年から1978年まで年間コンテナ貨物取扱量(トン数ベース)で連続6年、世界一の座についている。

1995年の阪神・淡路大震災では、岸壁は崩れ、クレーンは倒れ、あらゆる設備が被災して神戸港は壊滅状態になった。日本中の港がパンク状態になりながらも神戸に入るべき貨物を分担。「国・県・市・民間を挙げて復興に取り組み、2年で完全復興を成し遂げました」と森田参事。とはいえ釜山や上海に逃げた荷は戻らず、貨物船の大型化に対応して六甲アイランドに水深の深いコンテナバースを次々に整備して手を打ちつつも、相対的に日本港湾の国際競争力が低下するなか、貨物の国際ハブ港(中継港)としては厳しい状況が続いている。しかし神戸港が貿易港として暮らしや産業の基盤を支え、多くの国際定期航路で世界中の港とつながり、瀬戸内を中心に国内航路の要であることに変わりはない。

古くからモノと人が行き交う場所ならではの外へ開かれた風土と、この150年で培われた国際色豊かな町並みやハイセンスなファッション、新しもの好きで進取の気性に富んだ神戸っ子気質は、これからも神戸の魅力を輝かせていくことだろう。開港150年のこの年には5月に行われる「神戸開港150年音楽祭」をはじめ数々のイベントが予定されている。

『「港町 Kobe」であり続けること。それがこの町の未来を拓く道です』。



現在の神戸港。埠頭や巨大な人工島はすべて埋め立てで作られた



須磨のベルトコンベヤ。40年以上もの間、神戸の築港に貢献した



埋め立てのため山を削った跡地には団地や研究学園都市が生まれた



コンテナバース。巨大なガントリークレーンで積み下ろしが行われる



震災メモリアルパーク。神戸港の機能が全滅した当時の様子を伝える

※ケーソン工法：地上でつくったコンクリート(または鋼製)の巨大な箱を沈めて港湾設備などを築く工法

協力・写真提供(*印除く)/神戸海洋博物館



FAMILY 通巻376号 2017年4月20日(隔月20日)発行

編集責任者 FAMILY編集委員会 岡嶋 友

発行 FUJITSUファミリ

〒105-7128 東京都港区東新橋1-5-2 富士通(株)内

Copyright 2017 FUJITSUファミリ会 [禁無断転載]

<http://jp.fujitsu.com/family/>

*本誌記事中の各会社名、各種製品名等は、各社の商標または登録商標です。

*本文にある専門家による情報・意見は、必ずしも富士通・編集委員会の見解を反映したものではありません。

*本誌には、森林認証紙、植物油インキ、有害な廃液を出さない水なし印刷方式を採用しています。